



友好の絆を深めた姉妹都市交流

～第36回中学生大使フッドリバー訪問団体験記～

3月13日から19日までの日程で、鶴田町の中学2年生6人が姉妹都市米国オレゴン州フッドリバー市を訪問しました。生徒たちは遠く離れた土地で、言語や文化の違いに期待と不安を抱きながらも、多くのことを学び、交流を深めてきました。

今回はフッドリバー市を訪問した生徒たちの体験記をご紹介します。



初めての
ホームステイ

佐藤 天音

私はこのフッドリバー市への訪問で、初めてのホームステイに挑戦しました。訪問する前から、言葉や文化の面で心配事がたくさんあり、苦しい場面も数え切れないほど直面しました。

最も苦労したのは言葉です。いつも受けている英語のリスニングテストのような英語とは全く違い、現地の英語は話すスピードがとても速く、言葉同士を繋げて話していて、言葉を省略されていることが多かったです。そのため聞き取ることさえ難しく、仲間と協

力しながらコミュニケーションを取っていました。

ホストファミリーの方々がとても親切にしてくれたおかげで、滞在期間が楽しく、行って良かったと心から思うことができました。

今回の経験は自分にとってかけがえのないもので、自分が知らなかった未知の世界を見せてくれました。この経験を大切にしていきたいと思います。





今回フッドリバーに訪問するにあたって、なるべくアメリカの人と話をしようということ、アメリカと日本の文化の違いを探すことを目標にしていました。

実際アメリカに行くと周りの人がみんな英語で話をしていて最初は気弱になってしまいましたが、だんだん慣れてくると自分の知っている単語やジェスチャーを使いながらコミュニケーションをとることができました。

そして文化の違いについては、

食事はパンが主食だったこと、授業はデジタル化が日本より進んでいるという違いを見つけることができました。

今回このような機会を与えて下さった鶴田町長様はじめ役員のみなさん、引率して下さったみなさん、ホストファミリーのみなさんや家族には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

佐藤 道



今回の7日間でフッドリバー訪問で、私はたくさんの貴重な経験をすることができました。

最初は「自分の英語は通じるのかな」「会話できるのかな」という不安がとてもあり、緊張していましたが、フッドリバー市の方々が笑顔で私たちを歓迎してくれて、とてもうれしかったです。

次の日からは、中学校に通ったり、スキーに行ったり、バーベキューをしたりなどのいろいろなことを体験しました。その中でも特に心に残っていることはポートランドでのショッピングです。見慣れない本や文具、雑貨やお菓子ばかりでとても楽しかったです。

フッドリバーでの思い出

貴田 杏南

フッドリバーを訪問して、改めて「笑顔」「Thank you」はすごく大切だと実感しました。2つがあれば言語の壁を乗り越えられるということは、とても素敵なことだと思います！



訪問団の主な行程

3月13日	フッドリバー到着、マルトノマの滝を訪問、ホストファミリーがお出迎え、ウェルカムパーティ
3月14日	ホストファミリーと中学校に登校し、授業を受ける
3月15日	ホストファミリーと中学校に登校し、授業を受ける マウントフッドスキー場でスキーに挑戦
3月16日	レイ・ヤスイさんのお墓参り フレンドシップ公園に桜の植樹 シリオレストランで料理教室 ホストファミリーとボウリング・フリータイム 全てのホストファミリーと中学生でBBQ
3月17日	ホストファミリーとフリータイム ポートランド観光
3月18日	フッドリバーを出発
3月19日	帰国、解団式



海外を経験してみても

渋谷 華

私はフッドリバーへ行き、日本との違いにすごく驚きました。街並み、家、学校など見るもの全てが新鮮でとても面白かったです。

なかでも学校は、日本とは全然違いました。学級というものがなく、自分で教室に移動しました。どの授業も一つの机に4、5人が座り班活動をしているみたいで楽しかったです。スマホの持ち込みなども許可されていて、とても自由に感じました。

街並みにも日本との違いを感じました。道路がとても広く、自然もたくさんあり、ずっと歩いていても飽きませんでした。また、急な坂道も多くあり、下の方の町がよく見えるのも綺麗で、街並みだけでもこんなに違うのかと驚きました。

フッドリバーへの訪問は私にとって初めてのことがたくさんあり、とても良い経験になりました。一生の思い出を作れて良かったです。



最高の思い出のフッドリバー

松江 伶恩

今回の訪問は初めての海外で日本で旅をするよりも楽しく、学べるものもたくさんありました。

僕は前から洋楽などを聴くのが好きで、ホストファミリーの人たちと好きなアーティストが合ったときの興奮はたまりませんでした。なので、外国人みたいに英語をペラペラに話す人はかっこよく見えて憧れが強くなりました。

ホームステイの最初は緊張でなかなか話が進まず、翻訳機械を多用していましたが、後半は日本についてや家族についての話などで盛り上がりました。

最後にアメリカで感じたことは、とても親切な所です。上手に英語を話さなくても、「OK、OK」と受け入れてくれました。なのでまたアメリカに行く機会があったらぜひ行きたいです。



フッドリバーでの思い出

渋谷 実莉

今回の訪問で私は日本とフッドリバーの違いを学ぶことができました。

1つ目は学校についてです。日本の学校よりも校則が少なく、自由さが楽しそうでした。また、セキュリティ対策が強くびっくりしました。

2つ目は食べ物についてです。ハンバーガーのハーフサイズがハーフとは思えないサイズだったり、ピザのサイズがとても大きかったりと全てがアメリカンサイズですごく良かったです。

中学生大使の訪問は5年ぶりです少し緊張していた所もありましたが、ホストファミリーの方が温かく迎えてくださり、とても楽しいものとなりました。日本とは違う文化や言語に実際に触れるという貴重な体験ができてよかったです。

フッドリバー訪問団のホストファミリーになってみませんか?

8月に来町するフッドリバー市からの訪問団を迎え入れて下さるホストファミリーを募集しています。フッドリバー市民の方々と交流し、生活を共にすることは、ご家族にとってもかけがえのない体験になります。興味のある方は、どうぞお気軽にお申し込み、お問い合わせください。

●滞在期間(予定)

8月3日(土)～8日(木)までの5泊6日 ※受入期間などについて、お気軽にご相談ください。

●内容

宿泊場所と食事の提供、歓迎会への出席、集合・解散場所までの送迎等をお願いします。

■問い合わせ先：企画交流課 交流係 ☎：0173-22-2111 (内線263)